

学級活動（１）指導案

1. 日時・場所 令和3年7月7日（水）5校時（13：30～14：15）
2. 議題 「1年生とあいさつを使った楽しい活動をしよう」

学級目標

虹

～根性・信頼・全力・挑戦

・絆・笑顔・団結～

3. 議題について

（１）児童の実態

クラス全体として、決められたルールを守ろうと意識する児童が多い。係活動では、クイズを作ったり、マジックを披露したりと、係ごとにクラスが楽しめるように工夫して取り組む姿が見られる。しかし、ルールを守れない児童に対して声をかける児童や、各係が考えた活動に進んで参加する児童は少ない。授業では、一人一人が考えをもつことはできるが、それを全体の前で伝える児童は限られており、「間違っていたらどうしよう」「批判されたら嫌だ」という思いが強く見られる。

4月に決めた学級目標は、一人一人違った色（個性）を大切にできるようにしたいという思いから「虹」とした。そして、虹の七色にちなんで七つの大切にしたいものを話し合っ入れて。学級目標について個人やクラスとしてできたことをふり返り、常に学級目標を意識できるようにしている。

学級会は、今年度6回経験をしている。4月に「キャリア在り方生き方ノート」を活用し、学級会の進め方について全員で確認した。クラスで話し合いたいことを挙げる中で「学級意見箱を設置するとよい」という意見が出たため、議題ポストとして意見箱の作成・設置をした。

第1回学級会では、議題を「スタート集会をしよう」として、クラス全員のことをまだ詳しく知れていないという理由から自己紹介の意味も含めた集会を行った。「クラスみんなのことをよく知り、仲良くなろう」という話合いのめあてに沿って内容を決定することができた。決定するまでに時間がかかってしまった。第2回学級会では、議題を「みんなでメダカの世話をしよう」として、クラスで育てているメダカの世話の仕方を話し合った。メダカのえさやりはクラス全員で回していくが、水槽の水を替えるといった活動は、全員ではなく5人程度募って行うことと決まった。えさのあげ方や誰がえさをあげるのかなど、曖昧だった点を話し合うことで、全員が納得し、責任をもって行うようになった。第5回学級会では、議題を「得意技披露集会をしよう」とし、「クラス全員のことをもっと知って、絆を深めよう」というめあてのもと、得意技をどのように披露するかを話し合った。その場でできない得意技は、事前に動画を撮ったりクイズにしたりするなどの工夫をして、全員が得意技を披露することに決まった。集会を終えた児童は、自分の得意なことを伝えられた達成感や、友達の今まで知らなかった一面を新たに知れたことの満足感で溢れていた。

話合い活動は少しずつではあるが、自分と異なる意見を受け入れたり、分からないときは確認したりして進められるようになってきた。しかし、議題を自分事として捉えて考えたり、意見を出したりする児童は限られている。全員が自分事として捉えて学級会を進めていくことができるようにしたい。

(2) 議題選定の理由

本校では、代表委員会が中心となり、昨年度から学校をよりよくするための活動を考えて実行してきた。その中の一つの取り組み、笑顔の輪を全体に広げるための活動「ウーバースマイルプロジェクト」を通して、全校児童自ら、笑顔を広げられたという実感が生まれたこともあり、今年度も継続していくことになった。

第4回学級会で、議題を『「ウーバースマイルプロジェクト」で学校全体をよりよくするためにクラスで取り組めることをしよう』とし、話し合った。昨年度の実践から、「忘れ物をなくすこと」や「廊下の歩行を呼びかけること」、「あいさつを広めること」といった意見が集まった。話し合いを進める中で、「学校をよりよくするために全員がすぐに取り組めるのはあいさつだと思う。」「あいさつを返されると気持ちがよいし、嬉しくなる。」という声が多く上がり、「あいさつをされた嬉しさを学校に広げること」に決定した。「先にあいさつ」をキーワードとし、朝、教室に入る時や、友達や教員とすれ違った時などに進んであいさつをすることをクラス全員で取り組んでいった。約3週間の実践活動をふり返る中で、「同じクラスの人や友達に、自分から進んであいさつをすることができた。」「あいさつを返してもらえたからすごく気持ちよかった。」という満足感のある声が聞こえてきた。また、クラスでできたあいさつを継続し、もっと多くの人に広めたいという思いも高まってきた。そこで、まずは仲良し班である1年生とあいさつを使った楽しい活動を通して、あいさつを広めていきたいという児童の思いから、「1年生とあいさつを使った楽しい活動しよう」を本議題として選定した。

本実践では、一人一人が自分事として捉えられるようにしたい。そのために、全員が話し合う目的を理解した上で学級会を行えるようにする。また、日々の活動の様子や振り返りなどを通して、子ども達を価値付け、自分の考えに自信をもてるようにしていきたい。一人一人の考えを大切にし、考えを聴き合う中で、みんなが納得して決定したことを気持ちよく受け入れられるような合意形成を目指し、決定したことを全員が率先して取り組もうとする姿を期待している。

4. 評価規準

	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
5年・6年	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】〈評価方法〉
6月8日 (火) 学級活動	・『「ウーバースマイルプロジェクト」で学校全体をよりよくするためにクラスで取り組めることをしよう』という議題について話し合う。	○学校をよりよくするためにクラスでできることについて話し合うようにする。	☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考え、意見を言ったり聞いたりしている。 【思考・判断・表現】〈観察・学級会ノート〉
6月8日 (火)～ 6月28日 (月)	・「あいさつをされた嬉しさを広げること」を実践する。	○継続できるように声かけを行いつつ、進んであいさつをしている児童がいたら価値付けていく。	☆自己の考えを生かしながら取り組もうとしている。 【主体的態度】〈観察〉
6月29日 (火) 帰りの会	・「あいさつをされた嬉しさを広げること」について振り返る。	○活動について、めあてに戻りながら振り返るようにする。	☆活動に対する自分の取り組み方や、学級全体としての実践をふり返り、今後の学級活動への見通しをもって取り組もうとしている。 【主体的態度】〈学級会ノート〉
6月30日 (水) 休み時間	・議題ポストの議題案を確認し、選定する。	○寄せられた議題の中から教師と一緒に議題を選べるようにする。	☆寄せられた議題案の中から学級にふさわしい議題を選んでいる。 【思考・判断・表現】〈観察〉
7月2日 (金) 休み時間	・提案者を含めた計画委員会で話合いのめあて、学級会の進め方や役割分担について話し合う。	○学級会の日時を伝える。 ○今回の学級会では何を大切にして話合いたいかを計画委員会のメンバーで確認をする。	☆話合い活動の準備や進め方を理解している。 【知識・技能】〈観察〉
7月5日 (月) 朝の会	・学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを学級全体に伝え、学級会シートに自分の考えを記入する。	○伝え方について事前に確認することで、学級全体の意欲を引き出せるような伝え方ができるようにする。 ○学級会シートに自分の考えを書くように伝える。このとき、話合いのめあてを意識するようにする。	☆議題に対して関心をもち、提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 【思考・判断・表現】〈観察・学級会ノート〉
7月5日 (月) 6日 (火)	・出された意見を整理しながら、学級会の進め方	○計画委員で一人一人の意見を確認しながら、話合いの流れを予想したり、時間配分を予想したりし	☆計画委員の運営や話合い活動計画について考え、準備をしている。 【思考・判断・表現】〈観察〉

中休み	について最終確認をする。	て、司会グループが落ち着いて学級会を運営できるように一緒に準備を進める。	
-----	--------------	--------------------------------------	--

(2) 本時の活動

①ねらい あいさつを1年生に広めるために、どんな楽しい活動ができるかを話し合っ
て決める。

②教師の指導計画

話合いの順序	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】 (評価方法)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 計画委員 (司会グループ) の紹介</p> <p>3. 議題の確認 「1年生とあいさつを使った楽しい活動しよう」</p> <p>4. 提案理由の確認 「ウーバースマイルプロジェクトを3週間やって、私たちはあいさつをすることができてきたけれど、学校全体に広がったわけではないので、まずは仲良し班の1年生にあいさつを使った楽しい活動をしてあいさつを広めたいと思ったから。」</p> <p>5. 話合いのめあての確認 「あいさつを通して1年生と仲よくなる。」</p> <p>6. 決まっていることの確認 ・7月13日(火)の学習の時間に体育館で1年生と活動する</p> <p>7. 話合い 話し合うこと① 「どんな活動にするか」</p> <p>話し合うこと② 「どんな工夫ができるか」</p> <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. 話合いの振り返り</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. 終わりの言葉</p>	<p>○司会進行は、進行表や「キャリア在り方生き方ノート」を活用しながら進めて行くよう助言する。</p> <p>○提案者に対して、どのような気持ちで本議題を提案したかを自分の言葉で伝えることができるよう事前に指導しておく。</p> <p>○事前に、計画委員会を中心にプログラムの概要を決めておくことで、話合いの内容が明確になるようにする。</p> <p>○事前に「出し合う」は済ませておき、「比べ合う」から始めることで、話合いの時間を十分に確保できるようにする。</p> <p>○話合いのめあてからそれた場合は、めあてを再度確認するよう声をかける。</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話合いが行き詰まってしまった時には助言する。</p> <p>○友達の思いを想像し、そこに寄り添って聞こうとしたり、相手に応えるために自分の思いを伝えようとしたりする姿を見取り、本時や事後の活動などに生かせるようにする。</p> <p>○司会グループのがんばっていた点、めあてや友達を意識した意見や態度などを見つけて賞賛し、意欲をもって実践できるようにする。</p>	<p>☆司会グループとして司会や記録などの役割を果たして話合いを進めている。 【思考・判断・表現】 (観察)</p> <p>☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考え、話合いに参加している。 【思考・判断・表現】 (観察・学級会ノート)</p> <p>☆みんなで決めたことの実践に向けて、期待を抱いている。 【主体的態度】 (学級会ノート)</p>

③本時の視点

・話合いのめあてを意識して、互いの考えを聴き合いながら話合いに参加していたか。

④板書計画

<p>第7回 学級会</p> <p>はじめの言葉 司会グループの紹介 議題「あいさつを使った楽しい活動しよう」</p> <p>提案理由 「ウーバースマイルプロジェクトを3週間やって、私たちはあいさつをすることができてきたけれど、学校全体に広がったわけではないので、まずは仲良し班の1年生にあいさつを使った楽しい活動をしてあいさつを広めたいと思っただけです。」</p> <p>話合いのめあて 「あいさつを通して1年生と仲よくなる。」</p> <p>話合い 話し合うこと①どんな活動にするか</p>	<p>話し合うこと②どんな工夫ができるか</p> <p>決まったこと 話合いのふりかえり 先生から おわりの言葉</p>
--	--

決まっていること

- ・7月13日
(火)の学習の時間に体育館で1年生と活動する。

(3) 事後の活動

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】 (評価方法)
7月8日 (木) 朝の会	・1年生との活動の役割分担をする	○これまでの経験を生かし、必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。	☆役割分担に基づいて協力して準備を進めている。 【思考・判断・表現】〈観察〉 ☆活動のめあてを意識して、友達と協力して活動している。 【思考・判断・表現】〈観察〉
7月13日 (火) 13:10~13:30 (学級の時間)	・学級で話し合った「あいさつを使った楽しい活動」を1年生と行う。	○活動のめあてを意識してできるようにする。	
7月14日 (水) 全校集会	・全校集会で活動を紹介する。	○活動内容をmeetを使って紹介する。	☆活動に対する自分の取り組み方や、学級全体としての実践を振り返り、今後の学級活動への見通しをもって取り組もうとしている。 【主体的態度】 (学級会ノート)
7月15日 (木) 帰りの会	・実践後の振り返りを学級会シートに書く。	○話合いから実践までの流れの中で自分や自分たちにできたこと、頑張れたことなどプラスの面を大切に、今後どう生かしていきたいかについて振り返るよう助言する。	
12月15日 (水) 全校集会	・全校集会で活動を紹介する。	○活動の成果を動画にまとめる。	